

コマツ コミュニケーション レポート

KOMATSU COMMUNICATION REPORT

激動する時代、メーカーはどのようにこの変化に挑み、取り組んでいるのか。コマツの製品をお使いのユーザーの方々をレポートしてご紹介いたします。今回は、長年に渡り、金属プレス加工及び金型&治具製作を行い、豊富な経験と技術力で社会に貢献されている、神奈川県相模原市の三基工業株式会社様にお話をお伺いしました。

Vol. 58 金型プレス加工・プレス用金型製作・治具工具製作

三基工業株式会社

本社工場 〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-18-29 TEL.042-774-4575(代表) FAX.042-774-4786
 鹿児島工場 〒899-2421 鹿児島県日置郡日吉町神之川1020-1 TEL.099-246-8800 FAX.099-246-8811
 創立 1981(昭和56)9月3日 代表取締役 山下 俊弘 資本金 2,500万円 従業員数 55名



トップに聞く。

『売上だけを伸すのではなく 中身を濃くして行きたい。』



代表取締役社長 山下 俊弘 氏

●創業から今日に至るまでの経緯についてお聞かせ下さい。

昭和56(1981)年9月3日に、それまで勤めていた会社での経験を活かし、プレス加工業として新たに会社を設立しました。

創業当初は、テレビチューナーの部品加工を手掛けていました。

その後、様々な方とのお付き合いに恵まれ、コンピューター電源用の放熱板、コネクター、組み立て治具など様々な部品加工を手掛けることが出来ました。

バブルが崩壊し、世間が不景気に見舞われた1997年頃には、弊社もその影響を受けましたが、テレビ関連・電源関連部品に加え、板金加工も手掛け、液晶業界のノートパソコンのリフレクターを製作することになり、ノートパソコンの売上が伸びるとともに、弊社も何とか仕事量を減らすことなくやって来れました。このリフレクターは、今では弊社の主力製品になっています。

また最近では、カーナビの部品なども手掛け始めています。

私どもでは、お客様から頂いた図面通りに作るだけではなく、より良い品質で、お客様のニーズに合った製品を作るべく、試

作から手掛け、お客様と共にアイデアを出し合いながら製品作りをしています。

●若い社員の方が沢山いらっしゃいますが、社員教育はどの様にされていますか。

難しいことや特別なことは何も求めていませんが、感性に頼る作業が多いので、5S、つまり、整理・整頓・清掃・清潔・躰の教育が、作業現場においては非常に重要と考えております。挨拶を始め、有難う、すみません等が言える、基本的なことをきちんと身につけた社員であって欲しいのです。

簡単なことのようにですが「ごめんなさい」の一言が中々言えないものです。非を認めて反省する人は伸びるものです。1+1=2では人並みです。物造りにおいては、日々反省して再発防止を心掛け、それを補う努力を重ねることによって1+1が3にも4にもなるのです。

技術的な難しいことは機械がカバーしてくれますから、若い社員の皆様には、基本的なことを忠実に守れる真面目な人達の集団になってもらいたいと思っています。

現場を捉える。

日々変化する顧客のニーズに応え、最良の品質とサービスを追求めたモノづくり。工場では徹底した品質管理と原価低減意識を持ち、社員が一丸となって仕事に取り組んでいる。さらに顧客の信頼に応えるための積極的な設備投資も推進している。



●昨年9月に立ち上がった、鹿児島工場

- 御社の主力製品である、リフレクターを加工する上での特徴をお聞かせ下さい。

リフレクターは、人目に付かない箇所に使われる部品ですが、打痕や傷にも厳しいチェックが入りますし、かなり細かい精度が要求される部品です。

また、加工時に油脂を一切使えないことがプレス屋最大の泣き所です。

そのため、金型寿命が非常に短くなってしまいますので、それに見合った金型を作らなければなりませんし、金型の製作から最終工程となる検査まで一貫して社内で行う必要性があります。

このような実情にあった金型を設計の段階からノウハウを入れて製作するには、やはり長年培ってきた慣れが必要なため、金型の設計及び製作は弊社の中でも、豊富な経験を積んだ者が行っています。



●長年培って来たノウハウから作り出される、実用にあった金型。

また、最終的な検査及び微調整は、女性社員が手作業で行っているのですが、女性ならではの繊細な感覚を持った指先に勝る



●最終工程における検査と微調整。女性ならではの繊細な指先が高い製品精度を作り出している。



ものは有りません。この女性社員の指先こそ弊社の自慢です。

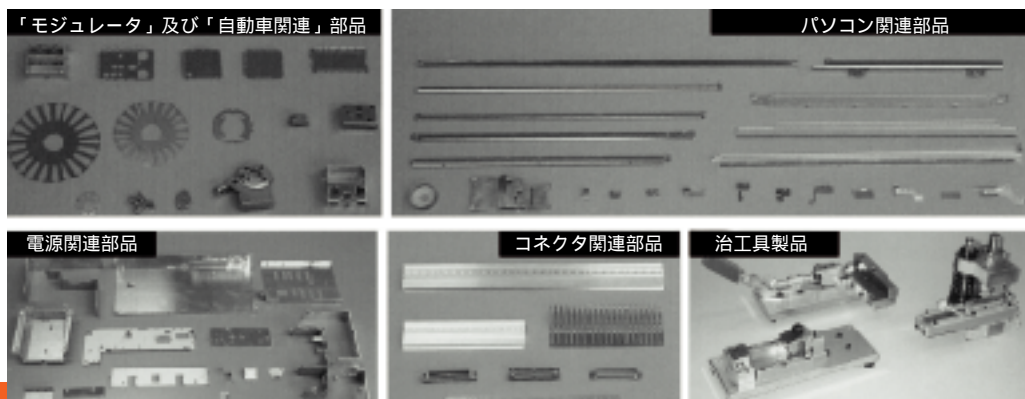
良い製品を作るには、マテリアル(素材)・マシン・マン(人間)の3Mが必要とされますが、まさにその通りだと実感しています。

生産コストの安い中国等の海外に対して、このような繊細な感覚から創り出される高い品質で対抗して行きたいと思っています。

- コマツのプレス機を数多く使って頂いておりますが。

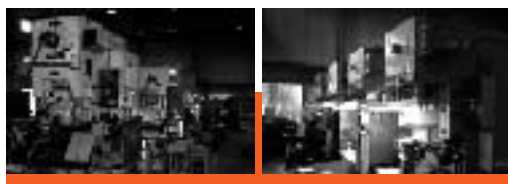
コマツとの付き合いはかなり長く、古いプレス機もまだ使っていますよ。コマツの良い所は、現場主義というか、現場の声を吸い上げてくれる所です。営業の方が実際に現場に何度も足を運んでくれて、私だけでなく実際にプレス機を操作している従業員の生の声を聞いてくれる。そして次の新製品にはその声が反映されているのです。

そういったことから信頼関係が芽生えた



●様々な製品を取り扱っている。

のです。コマツがなければ、弊社の今の品質は無かったと言えます。



●本工場ではコマツのプレス機が多数使用されていた。

- この度、新工場を立ち上げられ、サーボプレスを数多くご導入頂きましたが。

私は、液晶関連のプレス加工には日本人の繊細な感覚や真面目な姿勢が非常に大切であると思っていますが、やはり製造業の現状として中国生産というものに対抗していかなければなりません。

そこで、昨年の9月に私の出身地である鹿児島において、町ぐるみでバックアップをして頂き、地元の若い人達を集めて新工場を立ち上げました。その際、土地建物等の固定投資を極力押さえ、その分を付加価値を稼ぎ出す機械設備費に当てようと思い、サーボプレスを8台程導入したのです。

プレス加工は全くの素人である若者ばかりを集めたのですが、何とか3ヶ月で軌道

に乗せることが出来ました。これも、プレスの経験や知識が無い人でも扱え、品質の高い加工が出来るサーボプレスのお陰であると思っています。

- 実際にサーボプレスH1Fをご使用になられて如何ですか。

ブランク加工においても、金型の持ちが良くなったと実感していますが、弊社の場合は特に、曲げ加工時にサーボの効果を大いに実感しています。

今までは、曲げ加工時の製品精度のバラツキに苦労していたのですが、サーボプレスで加工した所、精度の高い製品を安定して生産することができるようになった上に、バリも出にくくなりました。

弊社の手掛けている製品には、素材にアルミニウムを使う物もありますので、一気に突くよりも、ジワッと押すサーボならではのフリーモーション機能が適しているのです。

また、音も非常に静かです。低騒音というものは、作業者に安堵感を与える効果があるみたいで、女性の従業員もプレスをやりたがっているほどです。



●本工場と鹿児島工場に導入された数々のACサーボプレスH1F。今後のさらなる活躍が期待される。

●今後の展望などをお聞かせください。

現在は、リフレクターの生産をメインに様々なパソコン関連部品、コネクタ関連部品等を手掛けていますが、今後も様々な分野の製品にチャレンジし、同じ分野の部品でもその窓口を広げて行きたいと思っています。

また、他社との差別化を図るためにも、治工具部品といった付加価値の高いものも積極的に手掛けて行きたいと思っています。

そのためにも、優れた機械設備を随時計画して行くつもりですし、何よりも、さらなる技術の向上を目指して、日々努力し続けたいと思っています。そして、売上至上主義に拘らず、生産性の向上・製品歩留りの向上を図り、収益の確保に努めたいと考えております。



●普段は目に触れない部品だが、打痕や傷なども厳しくチェックが入る、高い品質が求められる。



●年度方針の通り、社員各自がそれぞれテーマを持ち、自信と責任に満ちて仕事に取り組んでいる。



製品紹介

■主要仕様

機種	単位	H1F35	H1F45	H1F60	H1F80	H1F110	H1F150	H1F200
能力	kN	350	450	600	800	1100	1500	2000
能力限界	mm	4.5	5.5	6.0	5	5	6	6
ストローク	mm	-80	-100	-120	-130	-150	-200	-250
最大ストローク/分	1/min	-80	-70	-60	-75	-65	-55	-50
ダイハイト	mm	210	250	300	320	350	420	450
スライド調整量	mm	55	60	65	80	100	100	120
スライド寸法	左右 L-R	350	400	500	550	620	700	850
	前後 F-B	300	350	400	450	530	550	650
シリンダ径	mm	38.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5
最大対応寸法	左右 L-R	700	800	900	1000	1100	1250	1450
	前後 F-B	400	450	550	600	680	760	840
	mm	86	110	130	140	150	165	190
許容上型質量	kg	50	80	130	190	350	500	650

お問い合わせは

KOMATSU

コマツ産機株式会社 鍛圧KBU 企画グループ
〒140-0013 東京都品川区南大井 6-3-7 アーバンネット南大井ビル
TEL. 03-5561-2692 FAX.03-5561-2877

インターネットアドレス <http://www.komatsusanki.co.jp/>